

腫瘍を亢進する因子IRAK1を標的とした阻害剤のスクリーニング法及びモデル動物

生化学 日笠弘基 他

利用分野

細胞の増殖や分化を制御するWnt/ β -カテニン経路の活性化に必要な分子間相互作用を明らかにした。この相互作用を阻害する化合物の探索は、慢性炎症における線維化や腫瘍形成を阻害する新規薬剤の開発につながる。

シーズ

Wnt/ β -カテニン経路の活性化亢進作用を阻害する化合物のスクリーニング法である。ヒット化合物は、IRAK1とWnt/ β -カテニン経路の抑制複合体因子との結合阻害をもたらし、細胞の増殖や分化を抑制する。



ニーズ

IRAK1は、多様ながん種でリン酸化の亢進や発現上昇が報告され、がんを亢進する因子として報告されているが、その機序は不明であった。Wnt/ β カテニン依存性経路の活性化と関連する腫瘍形成の阻害剤が新規の抗がん剤になることが期待されている。

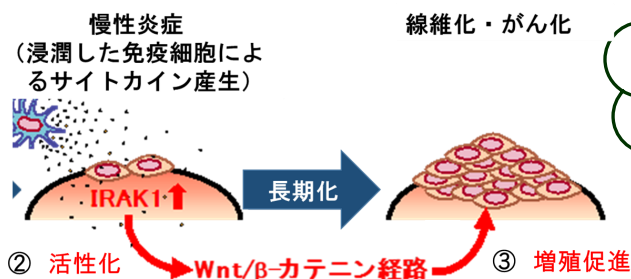
連携分野

Wntシグナルの研究を基盤とした新規の抗がん剤の開発を行う研究機関や製薬メーカーとのコラボ



知財保護

特願2019-207336



Wntシグナルの研究から新規抗がん剤の開発へ



本学マスコットキャラクター
ラマティ



産業医科大学

産業医科大学 産学連携・知的財産本部

〒807-8555
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号

問い合わせ先: 研究支援課
TEL: 093 (280) 0532
FAX: 093 (691) 7518
E-mail: chizai@mbx.pub.uoeh-u.ac.jp